

安全データシート (SDS)

この情報は顧客のためのサービスとして提供するものとして、顧客の参照用です。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しております。法令の改正や新しい知見に基づいて改定されることがあります

Date of issue : 2023-03-03
Revision date : 2023-11-01

Version 03

1. 化学品及び会社情報

A. 製品名

- CELLiST_{TM} F7

B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途 : 細胞培養培地
- 使用上の制限 : 上記の用途以外の使用は禁ずる。

C. 製造業者/供給者/流通業者情報

- 製造者/供給者 : Ajinomoto CELLiST Korea Co., Inc.
- アドレス : 105, Jisikgiban-ro, Songdo-dong, Yeonsu-gu, Incheon 21991, KOREA
- 担当部署 : Production Division
- 緊急連絡先 : +82-32-210-2600
- FAX番号 : +82-32-210-2604
- E-mail : sales@ajinomotocellist.com

2. 危険有害性の要約

A. GHS分類

- 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 区分2

B. GHSラベル要素

○ 絵表示



○ 注意喚起語

- 警告

○ 危険有害性情報

- H315 皮膚刺激
- H320 眼刺激

○ 注意書き

1) 安全対策

- P264 取扱後は取扱部位をよく洗うこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

2) 応急措置

- P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P310 ただちに医師に連絡すること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

3) 保管

- 該当しない。

4) 廃棄

- 該当しない。

- C. 有害・危険性分類基準に含まれてないその他の有害・危険性
- データなし。

3. 組成及び成分情報

A. 危険有害成分

化学物質名	慣用名及び異名	CAS番号	含有量(%)
L-Lysine hydrochloride	L-(+)-LYSINE MONOHYDROCHLORIDE	657-27-2	3 - 8
L-Threonine	(2R,3R)-2-amino-3-hydroxy-butanoic acid	72-19-5	2 - 7
Sodium phosphate monobasic	Phosphoric acid, sodium salt (1:1) ; Phosphoric acid, monosodium salt ; Sodium dihydrogenorthophosphate ; Monosodium phosphate ; Sodium orthophosphate ; Sodium acid phosphate ; Sodium dihydrogen phosphate ; Monosodium dihydrogen phosphate ; Dihydrogen monosodium phosphate ; Dihydrogen sodium phosphate ; Monobasic sodium phosphate ; Monosodium dihydrogen orthophosphate ; Monosodium hydrogen phosphate ; Monosodium orthophosphate	7558-80-7	1 - 6
L-Histidine	Histidine	71-00-1	1 - 5

4. 応急措置

A. 眼への接触

- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。
- 眼をこすらないこと。
- 直ちに医師の治療を受けること。

B. 皮膚に付着した場合

- データなし。

C. 吸入毒性

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。

D. 飲み込んだ場合

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。

E. 急性および遅延性の主な症状/影響

- データなし。

F. 応急処置および医師の注意事項

- データなし。

5. 火災時の措置

A. 適切な（そして不適切な）消火剤

- 粉末消火剤、炭酸ガス、一般泡沫消火剤、噴霧。

B. 特定の危険有害性

- 重篤な眼の損傷。
- 皮膚刺激。

C. ばく露防止及び保護措置

- 大規模な火災の場合、無人放水装置を活用し、難しい場合は退いて燃えるように放っておくこと。
- 物質または燃焼生産物の吸入を避けること。
- 危険地域を隔離し、関係者外の立ち入りを禁止すること。
- 必要に応じて適切な保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

A. 人体を保護するために必要な注意事項

- 漏洩物に触れない。危険でなければ漏れをとめる。
- 漏出区域から安全な区域に容器を移動すること。

- 密閉された空間に出入りする前に、換気を実施すること。
- 保護具を着用した後、破損した容器あるいは漏洩された物質を処理すること。
- 作業者は適切な保護具（"8. ばく露防止及び保護措置"の項参照）を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。

B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

C. 浄化方法

- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体に排出の内容を通知すること。
- 大量漏出の場合、低い場所を避け、風上にとどまる。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。
- 廃棄物管理法（環境省）により処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

A. 安全な取り扱いのための注意事項

- 設備対策と個人保護具。
- 容器が空になった後も製品かす（蒸気、液体、固体）が残ることがあるので、すべてSDS、ラベルの予防措置に従うこと。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

B. 安全保管条件

- 漏れないよう、定期的に点検すること。
- 使用しない場合、密閉しておくこと。
- 避けるべき物質および条件に注意すること。
- 火気厳禁。
- 静電気を防止するために可燃性の物質および熱源から遠ざけること。

8. ばく露防止及び保護措置

A. 許可濃度

- **日本許容濃度**
 - 該当しない。
- **ACGIHの暴露標準**
 - 該当しない。

B. 設備対策

- データなし。

C. 個人防護具

- **呼吸保護**
 - 高効率の微粒子フィルター付き自給式呼吸装置。
 - 高効率の微粒子フィルター付きの空気清浄呼吸器。
 - 未知濃度またはその他の生命や健康に差し迫った危険がある場合：送気マスク（複合式エアラインマスク）、空気呼吸器（全面型）
 - 粉塵、ミストやヒューム用呼吸保護具を着用すること。
 - 使用前に警告の特性を考慮すること。
 - 電動ファン付空気清浄呼吸器（ダスト、ミスト、ヒューム浄化用）
- **眼の保護**
 - 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。
- **手の保護**
 - 適切な耐化学性手袋を着用すること。
- **身体の保護**
 - データなし。
- **その他**
 - データなし。

9. 物理的及び化学的性質

A. 外観	
- 性状	固体（粉末）
- 色	データなし
B. 臭い	データなし
C. 臭気閾値	データなし

D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
G. 引火点	データなし
H. 蒸発速度	該当なし
I. 引火性（固体、気体）	該当なし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	該当なし
K. 蒸気圧	該当なし
L. 溶解度	データなし
M. 蒸気密度	該当なし
N. 比重	データなし
O. 水/ n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	データなし
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

10. 安定性及び反応性

- A. 安定性
- 勸奨された保管と取り扱いの場合、安定する。
- B. 有害反応の可能性
- 有害重合反応を起こさない。
- C. 避けるべき条件
- データなし。
- D. 混触危険物質
- データなし。
- E. 危険有害な分解生成物
- データなし。

11. 有害性情報

- A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報
- (呼吸器)
 - データなし。
 - (経口)
 - データなし。
 - (眼・皮膚)
 - 重篤な眼の損傷
 - 皮膚刺激
- B. 有害性
- 急性毒性
 - データなし。
 - 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 - データなし。
 - 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
 - データなし。
 - 呼吸器感作性
 - データなし。
 - 皮膚感作性
 - データなし。
 - 発がん性
 - * IARC
 - データなし。
 - * OSHA
 - データなし。

*** ACGIH**

- データなし。

*** NTP**

- データなし。

*** EU CLP**

- データなし。

○ 生殖細胞変異原性

- データなし。

○ 生殖毒性

- データなし。

○ 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

- データなし。

○ 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

- データなし。

○ 吸引性呼吸器有害性

- データなし。

12. 環境影響情報**A. 生態毒性**

- データなし。

B. 残留性と分解性

- データなし。

C. 生物蓄積性

- データなし。

D. 土壌中の移動性

- データなし。

E. オゾン層への有害性

- 該当しない。

F. その他の有害な影響

- 該当しない。

13. 廃棄上の注意**A. 廃棄方法**

- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。

- 焼却して処理する。

B. 廃棄上の注意

- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

14. 輸送上の注意**A. 国連番号**

- 該当しない。

B. 国連輸送固有名

- 該当しない。

C. 輸送危険クラス（ES）

- 該当しない。

D. 包装等級

- 該当しない。

E. 海洋汚染物質

- 該当しない。

F. 輸送上の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。

15. 適用法令**A. 日本国内規制事項**

- 化管法
 - 該当しない。
- 化審法
 - 該当しない。
- 労働安全衛生法
 - * 日本許容濃度
 - 該当しない。
- 消防法
 - 該当しない。
- 毒物及び劇物取締法
 - 該当しない。

B. 他の国内および国際法律情報

- 残留性有機汚染物質規制法
 - 該当しない。
- EU 分類情報
 - * 分類
 - 該当しない。
- 米国の管理情報
 - * OSHA規定 (29CFR1910.119)
 - 該当しない。
 - * CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)
 - 該当しない。
 - * EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)
 - 該当しない。
 - * EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)
 - 該当しない。
 - * EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)
 - 該当しない。
- ロッテルダム協約物質
 - 該当しない。
- スtockホルム協約物質
 - 該当しない。
- モントリオール議定書物質
 - 該当しない。

16. その他の情報**A. 参考文献**

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。
- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。
- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカ所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。

B. 作成日

- 2023-03-03

C. 改訂回数及び最終改訂日

- V3, 2023-11-01

D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。